

「株式会社Blue Farm」への出資について

2026年9月11日

NOBUNAGAキャピタルビレჯ 株式会社

十六フィナンシャルグループのNOBUNAGAキャピタルビレჯ株式会社（代表取締役社長 峠 清孝、以下「当社」といいます。）が運営するファンドが新たにBlue Farm株式会社（代表取締役 青木 大輔、以下「Blue Farm」といいます。）に出資いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当社は、これからも、成長が期待できるスタートアップ企業への投資を通じて、地域経済と地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記

**Blue
Farm**

Make society healthy

**NOBUNAGA**
キャピタルビレჯ

1. 本件投資情報

対象ファンド	NOBUNAGA Raise Fund 投資事業有限責任組合
出 資 日	2026年9月11日
出 資 形 態	株式の引受

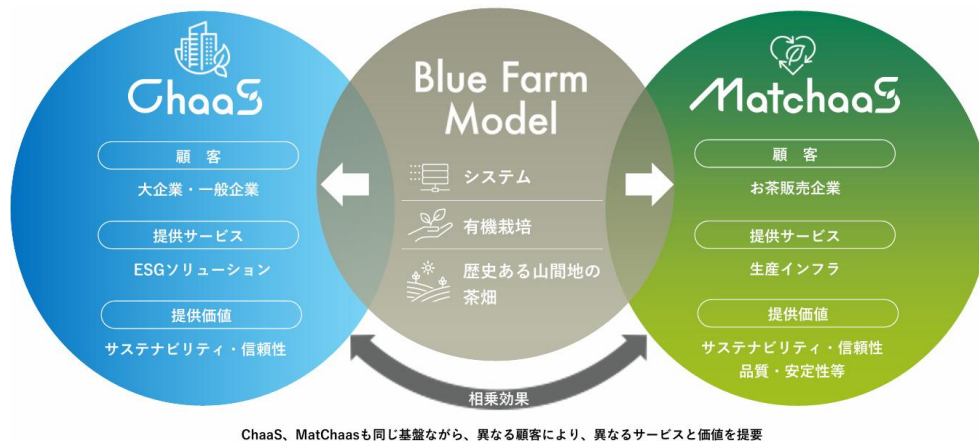
2. 出資について

- 「お茶を買うものからつくるものにかえる」を掲げ、国内におけるお茶生産者の減少に歯止めをかけるとともに、長く培ってきたお茶文化を世界に発信していくため、山間地の生産者からお茶の栽培環境を調達し、適切な企業に提供するビジネスに真摯に取り組む姿に共感したこと
 - 当社が本拠を置く岐阜県においても、「揖斐茶」や「白川茶」といった地元ブランドの生産者減少や後継者不足は深刻な地域課題となっており、Blue Farmの先進的なモデルを支援し連携を深めることは、業界全体の活性化のみならず、将来的に当地域の茶産業が抱える課題解決や新たな価値創出に繋がると期待すること
 - 300年以上続く茶農家出身である代表の青木氏が率いるチームには、目指すべき世界観に共感して専門性の高いメンバーが参画しており、抹茶ブームで活況な海外マーケットを含めたビジネス展開をしてくれると強く確信すること
- などの理由から出資いたしました。

3. Blue Farmについて

代 表 者	代表取締役 青木 大輔
所 在 地	静岡県浜松市中区鍛冶町100-1 ザザシティ浜松 中央館B1
事業内容	茶園運営および抹茶製造業
U R L	https://blue-farm.co.jp/

(サービスイメージ)



■ Blue Farmについて

Blue Farmは、持続可能な茶生産基盤の構築と環境価値の創出に取り組む企業です。自社飲料の切り替えを通じて茶畑の環境価値を企業活動に取り入れ成果を可視化する「ChaaS（チャース）」と、急拡大する海外抹茶需要に対し、市場調達ではなく顧客単位で茶畑を確保し、複数年中长期契約のもと栽培・施肥・加工・品質管理・データ取得までを一元管理する生産基盤モデル「MatchaaS（マツチャース）」を展開しています。

国内茶産業の生産者高齢化や耕作放棄地増加といった課題に対し、茶畑を次世代へ引き継ぐ持続可能な生産インフラへと転換し、国内産地と海外市場を直接繋いでいます。

以 上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL 058-266-2511】